

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

迎春

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはよいお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

近年の気候変動による夏の記録的な猛暑、豪雨などの自然災害が激甚化する傾向がある中、地球温暖化対策の必要性が求められるとともに、森林・林業の役割などの関心がさらに高まってきていると思われます。今年も高尾山での森林環境教育を主体とした各種イベントなどを通じて、多くの方々に、森林・林業に対する理解を深めていただけるよう職員一同及びボランティア団体等の皆様と共に取り組んでまいります。

本年もよろしくお願いいたします。

高尾山頂より望む元日の富士山

令和7年元旦

高尾森林ふれあい推進センター所長 山田 徹

巻頭

Photo

高尾山のいきものたち

アオダイショウ (ナミヘビ科)

樹や水の上でも見られる長いヘビ。全長が1～2m程で、体色は個体差があるが緑色や褐色がかったオリーブ色をし、頭は角張っていて、瞳孔は丸く目の後ろに黒い筋が入っている。平地から低山の森林や河川敷、農地、公園などに棲み、東京付近でもよく見られる。冬は冬眠し、4～10月頃に現れる。

肉食で、ネズミなど小型哺乳類、鳥や鳥の卵、カエルなどを食べる。腹面にある隆起をひっかけて木や電柱などを登ることができ、鳥の巣を襲うこともある。さらに、地中の穴や下水道などにも入り、泳ぎも得意で、活動範囲が広い。また、何度も脱皮して生まれ変わるように成長し、長寿で10年以上生きると言われる。このようにとても生命力がある生きものだ。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)

12月期の森林教室

多摩育児会 中神保育園
(12月3日) 28名【出前】



ドングリを使って工作

12月は、2校の実施となりました。



中野区立 中野本郷小学校
(12月6日) 49名【キャンプ場】



森林を歩きながら学習

森林カレッジⅢ開催！



12月14日(土)、日影沢自然学習体験施設(炭焼施設)において、東京大学名誉教授 矢田貝光克先生を講師に迎え、「森林の恵みと共に ～炭焼、そして森林の香り～」と題した講義と伏焼き窯を使っての炭焼体験を開催！



炭焼き方法を説明



伏焼き窯から
上る煙



谷田貝先生の講義



伏焼き窯に竹材を並べます



ドラム缶窯での炭焼方法説明

これからの季節、冬芽観察がおすすめです



ヤブムラサキ



ゴンスイ

Forest通信 NO.431

発行：林野庁関東森林管理局
高尾森林ふれあい推進センター



ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689

E-mail:ks_takao_postmaster@maff.go.jp

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>